

放課後等デイサービス ぴっころんど 事業所自己評価シート

職員による自己評価

※職員13名にアンケート用紙を配布。
うち、7名が回答。

環境・体制整備

利用定員とスペースの関係についてはおおむね適切であると回答しているが、職員の配置数及びバリアフリー化はどちらともいえないが多い。

業務改善

前年比、すべての項目について「はい」の回答が増えているが、業務改善のためのPDCA、外部評価の実施および活用については前年同様評価が低い。年2回運営委員会を開催し外部評価の機会はあるが、職員全員には伝えきれていない。

適切な支援の提供

支援前後の打ち合わせ、情報共有等について非常に高い評価を得ている。活動の非固定化、休み時のきめ細やかな課題設定については数値が低い。子どもたちの意見を聞き、一緒に考え活動に反映しているが、結果として同じような内容になっていることが多い。

関係機関や保護者との連携

地域自立支援協議会等への積極的参加や、保護者及び学校との共通理解、情報共有については、非常に高い評価を得ている。ご家族との関わりは大切にしているが、ペアレントトレーニングは行っていないため、その項目の数値は低い。また、就学前の関係機関との情報共有の数値が低い、これは小学1年生からの利用者がこれまでいなかったためである。

保護者への説明責任等

個人情報の取り扱いをはじめ、保護者との意思疎通や苦情対応、情報伝達のための配慮、子どもや保護者に対する発信について高い評価を得ている。毎月のお知らせや広報誌での共有が浸透していると捉えている。

非常時等の対応

全項目にわたり昨年よりも評価が大幅に上がっている。特に、ヒヤリハット事例集の作成、共有については全員が「はい」と回答している。緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル策定と職員や保護者への周知は浸透しているため、今年度は改善されている。

保護者による評価

※保護者32名にアンケート用紙を配布。
うち、24名が回答。

環境・体制整備

すべての項目について適切であると高い評価を頂いている。特に利用定員とスペースの関係、職員の配置数及びバリアフリー化は全員が「はい」と回答している。

適切な支援の提供

前年比、すべての項目について「はい」の回答が増え、支援計画については高い評価を得ている。放課後児童クラブ等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるかについては半数がどちらともいえないとなっているが、隣接している青少年地域活動拠点フレンズ☆SAKAEとの交流は続いている。

保護者への説明責任等

本年度もコロナ禍の影響により家族連絡会(2月に開催)の実施が難しかったため、保護者同士の連携の支援がしにくい状況になっていたが、それ以外の項目について、特に面談や、育児に関する助言等の支援及び支援に対する丁寧な説明については、非常に高い評価を得ている。

非常時等の対応

緊急時対応及び感染症対応マニュアルの策定並びに周知・説明、避難・救出訓練の定期的実施ともに高い評価がされている。特に訓練の実施については、保護者に対して定期的に書面により実施報告を行っているからであると考えられる。

満足度

全員の保護者が「子どもが通所を楽しみにしているか」、「事業所の支援に満足しているか」の設問に対して「はい」と回答してくださっていることは、大変有り難いことである。

事業所内での分析

【共通点】

非常時等の対応：直近3年間を比較すると、全項目にわたり段階的に評価が上がっている。特に避難訓練等については訓練内容を定期的に保護者に報告しており、その結果が保護者、職員ともに好評価を得ている一因であると考えられる。

【相違点】

環境・体制整備：すべての項目について適切であると高い評価を頂いている保護者の回答に対し、職員は利用定員とスペースの関係についてはおおむね適切であると回答しているが、職員の配置数及びバリアフリー化は「どちらともいえない」が多く、見解に違いが見られている。

分析・検討してみた…
昨年と比べ改善傾向にあるが、
まだ足りないところとして

事業所の強み

引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策をとりながら、この一年も事業を運営してきました。

飲食を伴うイベントは今年度も実施はできなかったが、そんな中でも、アンケートを見る限りは、子どもたちは通所を楽しみとし、保護者の皆様からも事業所の支援に満足しているとの回答を得られることができた。

この子どもたちや保護者との信頼関係が何よりの事業所の強みであると捉えている。

事業所の改善点

コロナ禍により、2年間開催していなかった家族連絡会を2月に開催した。率直にご意見を頂ける機会として定期的に開催していきたい。非常時等の対応は、建物を共有している地域サポート虹と連携し、避難訓練を実施してきたが、今後は、防犯訓練の実施もしていきたい。全体の訓練だけでなく、より具体的な対応方法やマニュアルの更新など、いざというときにスムーズに動けるように引き続き準備していきたい。地域ボランティアの豊田男塾の方と交流する機会は行事が減った分、少なくなった。次年度は、日常的に交流する機会をつくってきたい。

～事業所の改善への取り組み～

今年度は、2年ぶりに家族連絡会を開催した。次年度も、引き続き感染防止対策をとりながら、対面だけでなくオンラインなど工夫をし、継続的に開催をしていきたい。

非常時等の対応については、防犯マニュアルを作成した。次年度は、地域サポート虹とさらに連携を強くし、さかえ次世代交流ステーションとして、引き続き防犯対策を進めていきたい。マニュアルに沿って訓練を実施し、振り返りをするなかで、随時マニュアルの更新もしていきたい。また、通常の避難訓練については、子どもたちと各曜日で実施していき、引き続き、非常時への備えを万全にしていきたい。次年度は、豊田男塾をはじめとする地域ボランティアの方と、イベントだけでなく、日常の場面から一緒に過ごす機会をつくり、地域の豊かな人間関係のなかで、子どもたちが育っていく環境をつくってきたい。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

毎年、このような形で、皆様からご意見をいただく機会に感謝しています。この一年もコロナ禍ではありましたが、子どもたちが通所を楽しみにしてくれ、保護者の皆様からも温かい言葉をいただきました。アンケートの実施時期が12月だったため、2月に開催した家族連絡会についてのご意見はここには反映できておりませんが、ご参加いただいた保護者の皆様からは開催を喜ぶ声をたくさんいただきました。その中で、事業所に対する思いを聞かせていただくこともできました。これからも、ご意見を聞かせていただき、自分たちの役割を確認し、子どもたちが自分らしく生き活きと放課後を過ごせるようにしていきたいと思えます。貴重なご意見、大変にありがとうございました。

事業所名：地域活動ホーム径 放課後等デイサービス ぴっころんど

担当者：管理者 庄司晃洋

児童発達支援管理責任者 水上武史